

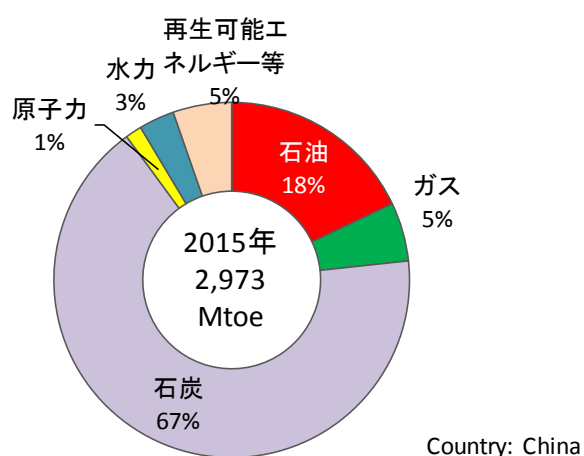
1-1 中国

1. サマリー

1. エネルギー事情

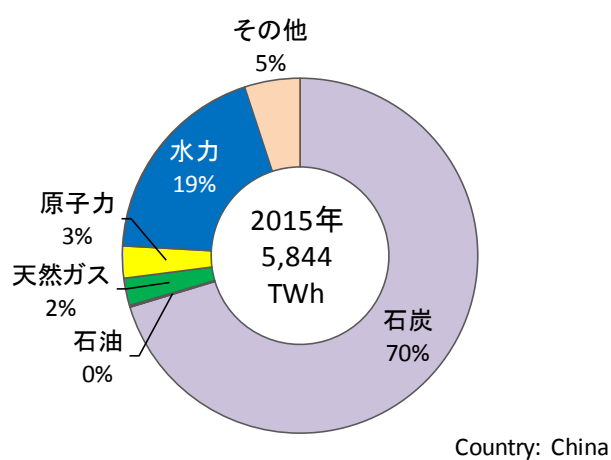
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 2,973 百万 toe (日本の 6.92 倍、世界第 1 位)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 2.17toe (日本の 0.64 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 84%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 90.4 億 CO₂ton (日本の 7.9 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 6.60CO₂ton (日本の 73%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 17.5 年、天然ガス 38.8 年、石炭 72 年

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 国家能源局（2008年7月設立）：国家発展改革委員会の外局。努尔·白克力国家発展改革委員会（NDRC）副主任が局長、副局長が4名（王曉林、李凡荣、基成元、劉宝華）。
- 「国家能源委員会」（2010年1月設立）：李克強國務院総理、張高麗の他20名の閣僚で構成。エネルギー政策全般に関する省庁間の利害を調整。

(2) 基本政策

- エネルギー需要の伸びが鈍化するなか、深刻化する環境汚染に対処し、且つCO₂排出量の削減に向けて、エネルギー供給構造の最適化、エネルギー利用効率の向上、クリーンな低炭素社会の建設、安全でクリーンな高効率エネルギーシステムを構築する。

(3) 最近の動向

- 2017年1月、国家能源局は13次5カ年計画におけるエネルギー分野の具体的な発展計画として、「エネルギー発展、13・5計画」を発表。2020年のエネルギー消費量を標準炭換算50億ton以内とし、2016年～2020年までの5年間のエネルギー消費量の伸びを2.5%、GDP単位当たりのエネルギー消費量を15%以上削減する。
- 2017年4月、国家発展改革委員会は「エネルギー生産と消費革命戦略(2016～2030)」を発表。2020年までの目標に加え、2030年にエネルギー消費量を標準炭換算60億ton以内に抑え、一次エネルギー消費量に占める非化石エネルギー比率を20%、天然ガス比率を15%前後とする長期目標を発表した。
- 2017年10月、第19回共産党大会が開催され、党規約に「新時代の中国の特色ある社会主義思想」の政治思想を盛り込み、習近平主席の2期目の政権運営がスタート。共産党大会報告では、①環境保護、②2035年までに社会主義強国を完成、③供給側構造改革の推進、④社会主義市場経済体制の完成、⑤グリーン発展の推進、⑥環境問題の解決等を基本方針として発表。
- 2017年12月、北京など8地域で試行してきた排出量取引を全国に拡大した。電力会社を対象に始め、鉄鋼など製造業にも広げる。電源の石炭火力からガス火力への転換を後押しし、温暖化ガスの削減と大気汚染の改善につなげる。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日中間では、東シナ海の主権及び油・ガス田開発問題をめぐって、両国の主張は平行線のまま未解決。
- 両国は、「日中経済協議」、「日中エネルギー協議」、「日中省エネルギー環境総合フォーラム」等を定期的を実施。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: People's Republic of China

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		2,973 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		2.17 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.33 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		84 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		9,040.7 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		6.60 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	67 %
	石油	18 %
	天然ガス	5 %
	原子力	1 %
	水力	3 %
	再生可能エネルギー等	5 %
(8) エネルギーの輸入依存度		16 %
(9) 石油の輸入依存度		60 %
(10) 輸入原油の中東依存度		51 %
(11) 原油の輸入先	第1位	サウジアラビア(15%)
	第2位	ロシア(13%)
	第3位	アンゴラ(12%)

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : 中国海関統計(2015年)